2016年８月１日

DIDスポンサーチームが鈴鹿8耐2連覇!!

二輪業界の一大イベントである真夏の祭典 2016 FIM 世界耐久選手権シリーズ第３戦「鈴鹿８時間耐久ロードレース」（以下、「鈴鹿８耐」）の決勝において、DID スポンサーチームである YAMAHA FACTORY RACING TEAM（ライダー：中須賀 克行/ポル・エスパルガロ/アレックス・ローズ）が、８時間で 218 周の新記録を樹立し、昨年に続き２連覇を達成しました。

前日の TOP10TRIAL で、２分６秒２５８のタイムをマークして２年連続ポールポジションを獲得した同チームは、決勝ではスタートで出遅れるものの、厳しい暑さによる影響もあってか序盤から転倒するバイクが相次ぐ中、スタート１時間後にトップを奪取、以降７時間以上に渡ってトップを死守する完璧なレース運びで、２位に２分以上の大差をつける強さを見せました。

今年はレース前から強いと言われていた YAMAHA FACTORY RACING TEAM ですが、終わってみれば予選、決勝ともに圧勝し「強いヤマハ」を見せつける形となりました。

同チームのマシンには、弊社製品であるレース専用 DID ドライブチェーンが装着されており、世界一過酷と評される真夏の８時間スプリント耐久レースにおいて、マシンのポテンシャルを最大限に引き出し優勝に貢献。DID チェーンの性能・品質の高さを実証すると同時に、同チームのマシンの両サイドに付された「D.I.D」のロゴマークを通じて、当社の存在感を示すことができました。

今後とも、世界の名だたるレースにおけるサポートを通じて、「D.I.D」ブランドの更なる確立と普及に努めると共に、グループ全体の企業価値の向上に資する取り組みを推進してまいります。

以上